

令和7年度保健事業評価

特定健診

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
特定健康診査受診率（％） （法定報告）		目標値	—	58	52	55	58	60	60	60		・令和5～7年度の年代別受診者数は各年とも70代が約35％と最も多く次いで60代の約27％となっている。 対象者の年齢別×受診履歴別構成比より70代の中でも最も受診率の高い74歳の受診者層が毎年後期高齢者医療へ移行している —人口構造的に受診率は年々下がる傾向にある。 ・60～70代に比して受診率の低い40～50代では未受診者の約半数は医療レセプトもなく、医療も健診も受けない無関心層が多い。 —健診無関心層への訴求が十分でなかったと考える	・受診勧奨事業は一定程度の効果がみられることから、今後も継続する ・未受診者層の掘起しが必要であるため、これまでの周知に加えさらに媒体を拡充する。 —新たな取り組みとして民間商業施設へのチラシの設置、図書館展示、当初納通への勧奨チラシ同封の実施予定
		実測値	48.8	49.3	48.6	42.2※	—	—	—	—	↘		
生活習慣病の改善意欲がある人の割合（％） （出典：KDBシステム「質問票調査の状況」）	男	目標値	—	—	74	74.2	74.4	74.6	74.8	75			
		実測値	73.8	72.6	73.8	74	—	—	—	—	↗		
	女	目標値	—	—	77.9	78	78.1	78.2	78.3	78.5			
		実測値	77.8	77.2	78.1	78.9	—	—	—	—	↗		

※…法定報告値は毎年11月に確定のため、暫定値

特定保健指導

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
特定保健指導実施率（％）		目標値	—	—	20	25	30	35	40	60		・保健指導を希望しなかった理由として「多忙」（27.1％）、「日程が合わない」（11.7％）と、個人のプライベートを理由とする回答が多い。加えて近年の夏場の酷暑が、外出して保健指導を受けるという意識にも影響している。	・比較的集客の期待できる集団での運動セミナーの継続。これまでは面接とは別に実施していたが、管理栄養士がスタッフとして入り面接も同時実施することで実施率に直結する体制で実施の機会を確保していく。 ・未利用者への電話勧奨（未利用者全件）は効果があるため例年通り実施 ・ICT利用（夏場の酷暑対策、時間的負担軽減）に向けて環境の整備を検討
		実測値	16.1	14.9	14.5	18.4※	—	—	—	—	↘		
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（％）		目標値	—	—	21	22	23	24	25	26			
		実測値	22.4	22.4	29.7	*	—	—	—	—	↗		

※…法定報告値は毎年11月に確定のため、暫定値 *…事業実施途中のため暫定値

異常値放置者受診勧奨事業

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
対象者への受診勧奨率（％）		目標値	100	100	100	100	100	100	100	100		・令和7年度は、精神疾患やがん患者など、通知の効果が期待できない者を対象から外したことで通知後受診率が大きく上昇した ・通知したものの受診につながらなかった者の要因の把握には至っていない	・通知物の情報量を絞るなどし、見てすぐに受診の必要性が伝わりやすい内容に文言を精査する。
		実測値	100	100	100	100	—	—	—	—	→		
勧奨対象者の医療機関受診率（％）		目標値	—	12	8	10	12	14	17	20			
		実測値	6.1	8.8	8.8	19.4	—	—	—	—	↗		

※…令和4年度は、評価方法が前年度と異なるため、令和3年度実績で記載。

糖尿病重症化予防

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	要因の要因	今後の方針
参加者の終了率（％）		目標値	—	—	65	70	75	80	85	90		・参加率が伸び悩んでいる理由の一つとして、本事業は多摩市医師会所属医療機関とかかりつけ薬剤師の連携が前提となるため、対象者が多摩市医師会外の医療機関へ通院しているなどの理由で利用に至らないケースが一定数ある。 ・保健指導中はリブレ（持続血糖測定器）の利用などで血糖変化が分かりやすくなるためモチベーションアップにつながりやすい。	・保健指導利用経験者から人工透析移行者が出ていないことから本事業の一定の効果と考え、今後も事業は継続する。 ・参加者を増やすため、抽出条件を変え発送者数を増やし、引き続き参加者増を目指す ・担当薬剤師の負担を減らし参加薬局を増やすため、保健指導マニュアルの作成・標準化、薬剤師間でのサポート体制強化などを実施する ・主治医からの利用推薦を増やせるよう、主要医療機関への参加働きかけを継続
		実測値	57.7	76.7	91.7	80.7	—	—	—	—	↘		
保健指導修了者のうち人工透析移行者（人）		目標値	0	0	0	0	0	0	0	0			
		実測値	0	0	0	0	—	—	—	—	→		

重複服薬対応事業

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
重複服薬者への通知数（人）		目標値	—	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		・被保険者全体に占める重複服薬者数の増加については、高齢者人口の増加により複数医療機関受診の方が増加していることなどが一人当たり医療費の年々微増などからも推察できるが、明確な理由把握には至っていない。	・現在対象者抽出→発送→発送後レセプト確認→保健指導を職員が実施しているが、抽出にかかる時間に比して発送数が少なく効果が見込みにくい。レセプト分析は専門的な技能を要するため、ノウハウをもつ民間事業者への委託を検討する。
		実測値	4	5	18	11	—	—	—	—	↗		
被保険者全体の重複服薬者数（人）※1		目標値	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす	前年度より減らす			
		実測値	34	26	39	45	—	—	—	—	↘		

後発医薬品（ジェネリック医薬品）促進通知事業

評価指標		年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
対象者への通知率（％）		目標値	100	100	100	100	100	100	100	100		・切替率が80％を安定的に超えている。	・事業による削減効果は発生しているものの、これ以上の普及率向上も見込めない。また、選定療養制度により普及率はより安定すると考える。発送対象者数を縮小し、他の事業へ注力していく
		実測値	100	100	100	100	—	—	—	—	↗		
ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）		目標値	80	80	80	80	80	80	80	80			
		実測値	80.1	80.9	87.5	88.4	—	—	—	—	↗		

がん検診

評価指標	年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
大腸がん検診の受診率（％）	目標値	—	増やす	増やす	増やす	増やす	増やす	増やす	増やす		平成２０年（本健診開始時以前）より国保特定健診と同時に大腸がん検診を受診できることとなったため、受診環境を改善したことにより受診率は継続して上昇している。	引き続き個別通知による、わかりやすいがん検診の情報提供と受診勧奨を継続するとともに、要精密検査の結果把握を行い、がん検診の精度管理に努める。
	実測値	37.0	39.1	41.4	※	—	—	—	—	↗		
大腸がん検診によるがん発見数（件）	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—			
	実測値	17	14	※	—	—	—	—	—	↘		

※…法定報告値は毎年11月に発表となるため記載不可

地域の介護予防活動の充実（一般介護予防事業）

評価指標	年度（令和）	4（策定時）	5	6	7	8	9	10	11	評価	評価の要因	今後の方針
介護予防に資する住民運営の通いの場（おおむね週１回以上定例開催）団体数（団体）	目標値	—	—	170	180	190	192	194	196		住民主体の介護予防活動をけん引する役割として介護予防リーダーを養成するとともに、介護予防リーダーを中核とした地域介護予防教室（以下、教室）の活動支援及び住民同士の介護予防活動として近所de元気アップトレーニング（以下、近トレ）の活動支援を実施した。その結果、教室は新たに１教室が立ち上がり、近トレは新たに１０団体が活動を開始した。また、教室及び近トレの活動継続率は１００％であった。	地域介護予防教室は事業開始から１０年が経過し、参加者の受け入れを停止している教室が増加していることや担い手の高齢化など多くの課題を抱えていることから、全２０教室に対するヒアリングを実施することで活動実態の把握を進めるとともに今後の支援の在り方等について検討を進める。また、引き続き地域介護予防教室及び近所de元気アップトレーニングの活動支援を実施することで活動の創出及び継続につなげる。
	実測値	161	132	145	195	—	—	—	—	↗		
介護予防に資する住民運営の通いの場（おおむね週１回以上定例開催）参加率（％）	目標値	—	—	7.5	7.7	8.0	8.0	8.0	8.0			
	実測値	7.3	7.7	7.1	8.9	—	—	—	—	↗		